

**秋** 平成18年度(2006)秋季地区予選

G(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	磯子工	横浜旭陵	元石川	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		7-7	14-4	9-2	2.5	17	1
磯子工	7-7		9-2	10-2	2.5	15	2
横浜旭陵	4-1	2-9		3-7	0	-21	4
元石川	2-9	2-10	7-3		1	-11	3

## 平成18年度(2006)秋季県大会

## 【1回戦】

9月2日 東海大相模高

東海大相模 1 2 3 0 0 1 0 0 0 | 7

希望ヶ丘 0 0 1 0 0 0 0 0 0 | 1

(東) 大城 - 伊藤

(希) 内山、矢作、小笠原 - 板垣

▽本塁打 田中(東)

▽二塁打 太田2、高橋、伊藤(東) 松田2、末永(希)

**春** 平成19年度(2007)春季地区予選

L(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	元石川	横浜平沼	横浜緑ヶ丘	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		7-2	16-6	9-17	2	7	2
元石川	2-7		3-13	2-8	0	-21	4
横浜平沼	6-16	13-3		0-5	1	-5	3
横浜緑ヶ丘	17-9	8-2	5-0		3	19	1

## 【1回戦】

4月7日等々力球場

希望ヶ丘 0 0 1 0 0 0 0 0 0 | 1

橘 1 0 0 0 2 0 3 1 x | 7

(希) 内山、矢作 - 板垣

(橘) 岩崎 - 中村

▽二塁打 金守、内山(希) 内海(橘)

**夏** 第89回全国高校野球選手権神奈川大会

## 【1回戦】

7月13日 県立相模原球場

試合時間2時間33分

相原 0 1 0 0 2 1 0 0 0 | 4

希望ヶ丘 0 0 0 2 0 2 0 4 X | 8

(相) 淵上、山口-倉田

(希) 矢作、内山-板垣

▽二塁打 渡辺(相) 板垣(希)

▽犠打 相0 希3(金守、花田、和路)

▽盗塁 相1(山口) 希5(花田、山崎、和路、川崎2)

▽失策 相2(倉田、山口) 希2(板垣)

▽ボーク 淵上(相)

## 【2回戦】

7月19日 県立相模原球場

試合時間2時間30分

希望ヶ丘 1 5 0 0 9 0 0 1 | 16

清陵総合 2 0 0 0 4 3 0 0 | 9

(八回コールド)

(希) 矢作、小笠原、内山-板垣

(清) 春藤、佐藤-山内

▽二塁打 花田(希) 高橋友(清)

▽犠打 希2(矢作、末永) 清3(山内、佐藤、吉澤)

▽盗塁 希2(金守、菊間) 清2(高橋友、加藤)

▽失策 希5(金守、上津、川崎2、末永) 清4

(田中、小野2、吉澤)

▽暴投 矢作2(希) ▽ボーク 春藤(清)

## 【3回戦】

7月21日 等々力球場

試合時間2時間36分

上鶴間 0 1 0 0 2 0 3 0 0 | 6

希望ヶ丘 0 1 3 0 0 0 0 0 0 | 4

(上) 矢作、内山-板垣

(上) 小柳、横山、柿島-江口

▽二塁打 川崎、山崎(希) 横山

(上)

▽犠打 上5(藤原2、江口、中村、小柳) 希4(花田、上條、山崎、川崎)

▽盗塁 上3(山崎2、藤原) 希0

▽失策 上2(山崎、小柳) 希2(金守、山崎)

この度は野球部創部120周年及び記念式典の開催、誠にありがとうございます。各世代の主将が寄稿するという事で、K-60を代表して、寄稿させていただきます。

私たちK-60は選手18名とマネージャー4名の計22名で活動をスタートしました。当時は吉野先生とコーチの福島さんやOB会の方々にご指導いただきまして、多くの成長ができたと感じています。そんな恵まれた環境で過ごしてきた私たちですが、振り返ってみると多くの思い出がありました。

眉毛を剃ってきて先生に怒られる人、スノボに行つて足を捻挫する人、草刈り中に自分の手を傷つけてしまう人、彼女に振られて練習を休む人、マネージャーを巡って恋で小競り合いする人など、他にもたくさんの面白いエピソードがありました。笑  
今思えば本当にいい思い出で、楽しいメンバーと過ごせたことを喜ばしく思います。

また、野球活動の思い出もたくさんありますが、やはり最後の夏が忘れられない思い出です。当時私たちの世代のマネージャーは3名でしたが、全員ベンチに入れてあげたいと選手間で話していたことを覚えています。

幸い、くじ運にも恵まれ、強豪平塚学園と4戦目にあたる組み合わせとなり、「3勝して平塚学園と戦うこと」を目標によりいっそう一致団結して戦っていました。心の底から仲間と共に目標に向かう気持ちは、人生を生きていく上でとても貴重な経験だったと思っています。

結果的には、3名のマネージャー全員に勝利を届けることはできませんでしたが、全員ベンチに入ってもらおうという目標は達成することができました。選手、マネージャー含めてみんなで、良い3年間だったと実感できた瞬間でした。

今でも交流の多い私たちの世代ですが、この時間があつたからこそ今があるのだと実感していますし、こうした仲間に出会えたことが、一番の幸せだったと思っています。

こうした時間を支えていただいた吉野先生や、福島さん、OB会の方々には大変感謝しております。時間が経つた今、K-60を代表して改めてお礼を言わせていただきます。「本当にありがとうございました」

最後になりますが、昨今、コロナ禍や技術の発展により子供でも大人でも「人に対して熱くなれる機会」というのが減ってきているように思います。学生時代に先生方に指導してもらったことを当たり前のように感じていましたが、熱意を持って人に接することが、とても大変なことであり、とても大切なことなのだと思えて実感をするようになりました。

高校野球に関わったものとして、高校野球の素晴らしさを知るものとして、今度は私たちがその経験を活かし、これからの子供達に熱意を持って伝えていけるように歩いていけたらと思っています。

今回の記念式典の開催や資料集作成にご尽力いただいたOB会の皆様に、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

希望ヶ丘高校野球部の更なる発展と活躍を思いながら応援しています。

K60 上條 大地